

“ありがとう”を見える化する「GoodJobカード」制度導入

～部署や役職を越えて“見えにくい貢献”に光を当て、組織文化を育む～

2025年10月21日

株式会社フリースタイル



株式会社フリースタイル（代表：青野豪淑、本社：愛知県名古屋市）は、社員同士が感謝を伝える制度として「Good Jobカード」を導入しています。「GoodJobカード」は、部署や役職を越えて仲間の“良い仕事”に対して感謝や称賛のメッセージを伝えるための取り組みです。単なる成果ではなく、見えにくい工夫や、誰かの業務を支えた行動に光を当てることで、部署をまたいだ相互理解や信頼の醸成を目指しています。

当初の目的は「感謝を言葉にする」ことでしたが、継続と改善を重ねる中で「組織の壁をなくす」「誰かのがんばりに気づける体質をつくる」といった、より深い組織文化づくりへと発展してきました。

制度の流れを3ステップで簡単に整理

1. 感謝のカードを書く

社員が「Good Job」と思った行動に対して、専用のカードにメッセージを記入し、所定のBOXに投函。

2. 回収・集計・共有

隔週でカードを回収し、投票数・得票数が多かった社員を本部内で共有。

3. 手渡して感謝を伝える

集計後、カードは記入者本人に戻り、自らの手で相手に手渡すことで、感謝の気持ちが直接伝わる仕組みとしています。



運用上の工夫

- 特定の部内に偏らないよう「部署外へのカードを最低1枚以上含める」ルールを設定。
- 極端なバラつきを防ぐため「期間内に1人〇枚以上」といったガイドラインを導入。
- かつて実施していた掲示は拠点増加に伴い廃止。現在は「感謝を贈ること自体を目的」とし、制度をシンプルに保つことで形骸化を防いでいます。

取り組みを始めたきっかけ・目的

きっかけ

当社では部門ごとの専門性や成果を重視する「縦割り体制」を強化してきましたが、その一方で部署を超えた情報共有がされにくく、組織成長とともに弊害が大きくなっていました。営業と人事の情報連携不足から社内外でクレームにつながる事態も発生。こうした“見えない分断”が信頼関係や組織エンゲージメントを損なう要因となり、対策が急務となりました。

目的

部署や役職を越えてお互いの仕事ぶりに目を向け、感謝や称賛を伝え合う文化を根付かせることです。成果だけでなく過程にある工夫や努力にも光を当てることで、社員一人ひとりの働きがいと誇りを高めることを狙っています。

実施にあたっての課題と改善

制度開始当初は「わざわざ書くのは面倒」と感じる社員も多く、効果が限定的でした。また、関わりの深いメンバー同士で送り合うだけという形骸化の兆しもありました。そこで、「部署外へのカードを最低1枚含める」「手渡しによって感謝の気持ちを直接届ける」など、あえてルールを定め、運用を改善しました。



さらに拠点増加によって掲示による共有が難しくなったため、掲示は思い切って廃止しました。「見せる仕組み」から「感謝を届ける仕組み」へと制度の本質を再定義しました。

実践の結果と社員の声



「GoodJobカード」の継続により、職場内の小さな工夫や配慮に自然と目が向くようになりました。期間や形式があることで「一つでも良い点を探そう」という意識が芽生え、コミュニケーションの質の向上にもつながっています。

社員からは「感謝を口に出すことも大事だけど、こうやってカードに書くことで振り返ることができる。（30代女性社員）」「気づき、伝えることができたということに自己肯定感が高まる。（20代男性社員）」

といった声が上がっており、制度は確実に根付いてきています。

今後の展望

今後も社員の声を取り入れつつ柔軟に制度を改善し、拠点間の距離を超えて「感謝を伝えあう文化」を広げていきます。感謝をおくりあうことが当たり前にある組織を目指し、上下関係や部署の垣根をこえた率直なコミュニケーションを基盤に、社内外の信頼関係を一層強化していきます。

企業概要

社名：株式会社フリースタイル

本社所在地：愛知県名古屋市中区錦 1丁目-5-13 オリックス名古屋錦ビル9階

設立年月日：2006年9月15日

資本金：10,000,000円

従業員数：290名

HP：<https://freestyles.jp/>

事業内容：IT人材提供、システム開発、ゲーム開発

<報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社フリースタイル 広報部 川崎

TEL：052-222-3200 FAX：052-222-3209

E-mail：fs_pr@freestyles.jp